

# めぐろ桜図鑑

すぐそこにある春を愛でる

コロナ禍の春、桜の季節となりました。遠出しなくても、桜は身近な場所で花を咲かせています。

区内には、約20種類もの桜があります。品種により咲く時期が少しずつ違うため、意外に長く楽しむことができ、花の持つ魅力や趣もさまざまです。

区内の公園などにある桜を、少しだけご紹介します。感染に十分気を付けながら、家の近くで静かにのんびり春を探してみませんか。

**園みどり土木政策課**  
**みどりの係**  
 (☎5722-9359、  
 ☎3792-2112)

## 桜を見る際は

- ・人混みを避け、人との距離を保ちましょう
- ・飲食は控えましょう
- ・マスクを着用しましょう
- ・体調が悪いときは外出を控えましょう



コヒガンザクラ

(小彼岸桜。開花は3月中旬)

名前のとおり、春の彼岸頃に咲き始めます。淡い紅色の一重咲きで、花びらが散ることなく、がく片を付けたまま花を落とします。①駒場野公園などのほか、総合庁舎にもあります。



ヨウコウザクラ

(陽光桜。開花は3月下旬)

ソメイヨシノより一足早く咲く桜で、4～5cmくらいの大輪の一重咲きです。春の日差しによく映える濃いピンク色の鮮やかな花を咲かせます。②西郷山公園や③東山児童遊園にあります。



ソメイヨシノ

(染井吉野。開花は3月下旬)

国内の約8割を占める東京生まれの桜です。種では増えることができない桜で、1本の原木から接ぎ木により全国に広がりました。区内の多くの公園や緑道沿いなどにあります。



ジンダイアケボノ

(神代曙。開花は3月下旬)

開花時期や花の形はソメイヨシノとよく似ており、花の色は濃いピンク色です。ソメイヨシノの代替種として、各地で植え替えられている桜です。⑥碑文谷公園や⑧めぐろ区民キャンパス公園にあります。



ウコンザクラ

(鬱金桜。開花は4月中旬)

ショウガ科のウコンで染色した色に似ていることからその名が付き、黄桜などの別名もあります。淡い黄緑色の花は大輪の八重咲きで、ぶら下がるように下向きに咲きます。①駒場野公園や④中目黒公園にあります。



イチヨウザクラ

(一葉桜。開花は4月中旬)

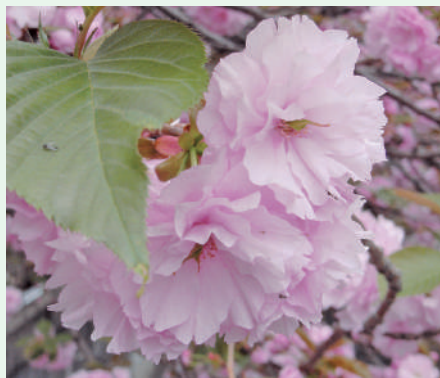
淡いピンクの八重咲きで、5cm以上の大輪です。花から葉の形に変形した雄しべが突き出ていることが名前の由来です。見頃はソメイヨシノの満開から2週間過ぎた頃。①駒場野公園や⑤立会川緑道にあります。



アマノガワ

(天の川。開花は4月中旬から下旬)

空に向かって立ち上がる枝に淡いピンクの花が咲く様子が、天の川のように見えることから名付けられました。八重咲きの花が、枝に沿うように上向きに咲きます。①駒場野公園や⑥碑文谷公園にあります。



カンザン

(関山。開花は4月下旬)

八重桜の中で最も代表的な品種で、花びらは50枚を超えることもあります。花が集合して咲くため、重みで枝が垂れ下がります。花の持ちがよく、長期間楽しめます。②西郷山公園や⑦九品仏川緑道にあります。

## 区内で桜がある公園など

- ①駒場野公園(駒場2-19-70)
- ②西郷山公園(青葉台2-10-28)
- ③東山児童遊園(東山3-13-16)
- ④中目黒公園(中目黒2-3-14)
- ⑤立会川緑道(碑文谷1丁目付近)
- ⑥碑文谷公園(碑文谷6-9-11)
- ⑦九品仏川緑道(緑が丘1丁目付近)
- ⑧めぐろ区民キャンパス公園(ハ雲1-1-12)

※区内には、この他にもたくさんの桜があります

目黒の桜を後世に残すために

## 目黒のサクラ基金への寄附を受け付けています

園みどり土木政策課施設計画係(☎5722-9745、☎3792-2112)

区内には約2,200本の桜があり、春になるとかれんな花を咲かせて、私たちを楽しませてくれます。しかし、高齢化や環境の変化による樹勢の低下が懸念されており、保護や植え替えなどが必要です。

目黒のサクラ基金は、皆さんから寄附を寄せていただき、桜の保全事業に活用するものです。1万円以上の寄附をいただいたかたに、記念品(右上写真)を贈呈しています(区外在住のかたはふるさと納税で返礼品を希望されていない場合のみ)。みどり土木政策課窓口(総合庁舎本館6階)のほか、ふるさと納税申し込みサイト「ふるさとチョイス」「ふるさとパレット」でも受け付けています。詳細は区HP(コード①)をご覧ください。お問い合わせください。



桜の伐採材を使って製作した記念品「サクラストラップ」



駒場野公園